

エレベータ設置・スロープ・多目的トイレの整備など

# 障がいのある児童・生徒たちが安心して学べる学校環境の整備を！

「障がいのある子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしてほしい」こうした願いを持つ保護者の方々と小中学校のバリアフリー化について懇談する機会がありました。

「車いす使用や歩行困難の子どものためにエレベーターの設置を市に要望してきたが、なかなか実現に至らない…」保護者の声は切実です。階段の上り下りが危険、移動に時間がかか

るため授業に間に合わないなど、具体的な声が出されました。

熊本市の小中学校へのエレベーター設置率は、政令市20市の中でも最低です。「学校の改修や建て替え時に設置する」との方針を改め、エレベーターを必要とする子どもの就学状況や就学予定などを把握し、順次設置を進めていくべきです。

## 政令指定都市20市の小中学校へのエレベーター設置比較

	都市名	全小中学校数	エレベーター設置校数	設置率
1	大阪市	428校	406校	94.9%
2	神戸市	248校	137校	55.2%
3	川崎市	170校	88校	51.8%
4	仙台市	187校	58校	31.0%
5	さいたま市	160校	47校	29.4%
6	横浜市	488校	137校	28.1%
7	相模原市	109校	30校	27.5%
20	熊本市	136校	8校	5.9%

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 928  
2014年12月7日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

## 階段昇降機は子どもに大きな負担 整備されていない学校も…

右の写真は、車いすを使用している児童が、階段昇降機を利用している様子です。仰向けに近い状況で、かなり恐怖を感じるとのことでした。また、1階分を往復するのに約10分かかり、教室を移動しての授業などには間に合わないこともあるとのことでした。



## 一般質問の傍聴にお越しく下さい

### なすまどか議員が一般質問を行います

日時：12月12日（金）午後2時より 場所：市議会本会議場

（控室から）  
市長選直後に170億円増えた桜町再開発  
なすまどか  
熊本市長選挙。桜町再開発でのMICE施設是非が大きな争点となるなか、推進派の候補も、内容の精査・事業費の見直しに言及せざるをえませんでした。  
しかし、市長選からわずか2日後、桜町再開発株式会社から示された事業計画において、事業費が当初の523億円から691億円へと170億円も膨らむことが明らかになりました。市の費用もこれに伴い、44億円増えることとなります。  
市長選が決した後、膨らんだ事業費を示す——これほど市民を愚弄する行為はありません。  
お年寄りのインフルエンザ予防接種はこの秋から有料となったほか、針灸あんま助成の削減など、数千万円で実施できる福祉サービスが次々と切り捨てられてきました。一方で、100億、200億の単位で事業費が膨らむ桜町再開発に固執する熊本市。もっと市民の大変な暮らしや切実な実態に目を向けてほしい。  
民間企業の一方的な計画変更で、市の負担が44億円も増えるような計画は、一度凍結し、市民や議会に丁寧な説明を行うべきです。  
ハコモノを作りさえすれば人が集まる時代は終わりました。桜町再開発におけるMICE整備は、きつぱり中止し、そのお金を福祉や教育に！こうした思いを12日の一般質問にぶつけたいと思います。

## ＜第2回熊本県後期高齢者広域連合議会報告＞

# 2013年度特別会計決算は約70・6億円黒字

後期高齢者広域連合議会では、益田牧子議員は、2013年度特別会計決算について認定できない主な理由を述べ、反対討論を行いました。

### 問題点1～70億の黒字決算、保険料引き下げを

特別会計決算額は、歳入決算額2698億円余から歳出決算額2570億円余を差し引き、剰余金は約128億円となり、2013年度の療養給付費の精算に伴う国・市町村、社会保険診療報酬支払基金への償還金を精算すれば、実質保険料剰余金は、約70億円、黒字決算です。九州各県の広域連合と比較しても福岡市に次いで多額の剰余金があります。12・13年度の2.65%約10億円の保険料引き上げの必要性がなかったことが明確になり、保険料の引き下げを求めました。

### 問題点2～保健事業費は、不用額7042万円

健康診査の受診率は、目標値を20%から13%へと下げたにもかかわらず、受診率は11,59%と低迷。約4853万円の不用額を出しています。九州でも一番低い受診率を引き上げるために、健診無料化(約3000万円)を要求しました。鹿児島県では、長寿・健康増進事業費補助金を活用し、歯科検診・口腔ケア事業が全県的に実施されています。高齢者の生きがい対策や肺炎予防、寝たきり防止にも効果がある歯科検診・口腔ケア事業の早期実現を要望しました。

### 熊本県は九州・沖縄で自己負担は最高、受診率は最低!

県名	受診率	自己負担	県名	受診率	自己負担
沖縄県	30,46%	無料	佐賀県	17,15%	無料
宮崎県	28,28%	無料	福岡県	16,99%	500円
鹿児島県	26,77%	無料	長崎県	13,65%	無料
大分県	21,91%	無料	熊本県	11,44%	800円

### 問題点3～安倍内閣の保険料扶養対象者軽減廃止は撤回を!

多くの高齢者は、年金は引き下げられ、消費税増税、円安による物価上昇による生活苦を訴えています。厚労省は、会社員に扶養されていた約170万人に対し、保険料を特例措置で9割軽減している措置を早ければ、2016年度から段階的に廃止する検討に入っています。

負担増になる高齢者は加入者の半数以上です。保険料負担が3倍になる世帯も生まれるなど2008年の制度開始以来、最大規模の改悪案となっています。

### 後期高齢者医療制度は廃止し、元の老人保健制度へ

後期高齢者医療制度のもともとの狙いは、公的医療費の抑制・圧縮です。75歳以上の人口と医療費が増えれば増えるほど、保険料負担に跳ね返る仕組みになっています。今でも保険料払いが困難な高齢者が多いのに、軽減措置廃止と負担増を求めることは、生活苦に追い打ちをかけます。益田牧子議員は、熊本県後期高齢者広域連合としても、問題だらけの「後期高齢者医療制度」を廃止し、元の老人保健制度に戻す要請するよう求めました。

### 保険料滞納者から延滞金まで徴収

### 保険料滞納者への延滞金徴収、差押さえ中止を!

益田牧子議員は、保険料滞納者からの延滞金徴収自治体や差し押さえ件数が増えていることから、機械的な対応を中止するよう求めました。

熊本市では、国保料ではとっていない延滞金徴収が、75歳以上の保険料滞納者から、13年度は8件・5万8,600円徴収されており問題です。

自治体名	件数	金額
天草市	55	13万9871円
水俣市	39	12万5100円
人吉市	35	6万3800円
菊池市	25	7万7260円
玉名市	20	3万1800円
氷川町	20	4万4900円
荒尾市	16	4万5900円
南関町	9	1万7800円
<b>熊本市</b>	<b>8</b>	<b>5万8600円</b>
多良木町	8	8000円
あさぎり町	7	4万7220円
南小国町	7	2万4600円